

平成30年度 第10回 WEBアンケート 調査報告書

1 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」

総合政策局オリンピック・パラリンピック推進部オリンピック・パラリンピック振興課

2 「科学都市ちば」

教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

3 「生涯現役応援センター」

保健福祉局高齢障害部高齢福祉課

市民局市民自治推進部広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果	ページ
・ 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」 1
・ 「科学都市ちば」 4
・ 「生涯現役応援センター」 6
・ 選択肢:その他() 8

回答者属性

回答者数	690人
------	------

性別		
男	348	50.4%
女	312	45.2%
その他	2	0.3%
未回答	28	4.1%

職業		
会社員	259	37.5%
自営・自由業	35	5.1%
パート・アルバイト	109	15.8%
公務員	38	5.5%
学生	11	1.6%
専業主婦・主夫	118	17.1%
無職	97	14.1%
その他	23	3.3%

年代		
～10代	5	0.7%
20代	29	4.2%
30代	115	16.7%
40代	156	22.6%
50代	203	29.4%
60代	87	12.6%
70代以上	95	13.8%

居住区		
中央区	161	23.3%
花見川区	114	16.5%
稲毛区	111	16.1%
若葉区	92	13.3%
緑区	64	9.3%
美浜区	138	20.0%
市内在勤・在学	10	1.4%

平成30年度 第10回

調査名	「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」「科学都市ちば」「生涯現役応援センター」
調査期間	平成30年12月28日(金)午前10時～平成31年1月10日(木)午後5時
回答者数	690人

※割合(%)は、小数点第2位以下四捨五入のため、割合の合計が100%にならない場合があります。

※複数回答の割合(%)は、各設問の対象者数を基数(n)としているため、割合の合計が100%を超える場合があります。

概要:

1「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」
2020年7月から「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」と言います。)」が開催されます。本市でも幕張メッセが会場となることから、皆さまの意識を把握し、大会に向けた施策に活用いたします。

2「科学都市ちば」
科学※に対するイメージや認知度、各種イベントの参加状況などをお聞かせいただき、「科学都市ちば」の実現に向けた参考とさせていただきます。
※学問としての科学のほか、最先端技術や生命、自然など、生活の中で広く活用されている取組み全般をさします。

3「生涯現役応援センター」
「生涯現役応援センター」※の認知度やニーズについてお聞かせいただき、今後の運営の参考とさせていただきます。
※シニアの皆様が、働きたい！ボランティアしたい！など、生涯現役でいきいきとご活躍いただけるよう、さまざまな相談や情報提供、紹介などを行っている総合相談相談窓口で、平成29年9月に稲毛区役所内に開所しました。

参考URL

<https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/opsuishin/opshinko/2020.htm>
<http://www.chibashi-science-festa.com/index.html>
<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/korei/svougaigeneki-ouen-center.html>

Q1: はじめに、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」についてお聞きします。

「東京2020大会」の開催を楽しみにしていますか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=690]

オリンピック、パラリンピック共に楽しみ	410	59.4%
オリンピックは楽しみ	89	12.9%
パラリンピックは楽しみ	4	0.6%
どちらともいえない	130	18.8%
楽しみではない	57	8.3%

Q2: 幕張メッセでオリンピック3競技※1、パラリンピック4競技※2が開催されることを知っていましたか。

※1フェンシング、テコンドー、レスリング

※2ゴールボール、シッティングバレーボール、テコンドー、車いすフェンシング

(1つだけ)(入力必須)

[n=690]

全部の競技を知っていた	154	22.3%
オリンピック3競技は知っていた	91	13.2%
パラリンピック4競技は知っていた	4	0.6%
一部競技は知っていた	344	49.9%
知らなかった	97	14.1%

- Q3: 幕張メッセで開催される競技の観戦チケット※の購入を考えていますか。
 ※オリンピックは2019年春から、パラリンピックは2019年夏からチケットが販売される予定です。チケットの購入には、ID登録が必要となります。詳細なチケット情報については上記参考URLを参照してください。

(1つだけ) [n=690]

考えている	249	36.1%
考えていない →Q5へ	441	63.9%

- Q4: 観戦チケットの購入を考えている競技は何ですか。

(いくつでも) [n=249]

フェンシング	141	56.6%
テコンドー(オリンピック)	58	23.3%
レスリング	180	72.3%
ゴールボール	56	22.5%
シッティングバレーボール	59	23.7%
テコンドー(パラリンピック)	34	13.7%
車いすフェンシング	54	21.7%
未回答	3	1.2%

- Q5: 東京2020大会ではたくさんのボランティアが活躍しますが、ボランティアに興味・関心はありますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=690]

ある(活動もしている)	56	8.1%
ある(活動はしていない)	259	37.5%
どちらとも言えない	223	32.3%
ない	152	22.0%

- Q6: 本市では、東京2020大会に向けて、ボランティア活動の盛り上げと、千葉市におけるボランティアの裾野を広げるために、「チーム千葉ボランティアネットワーク」を設立しました。どのようなボランティア情報や機会、活動があると登録したいと思いますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=690]

身近な活動(読み聞かせやレクリエーションの補助)の情報	206	29.9%
団体やNPOなどに関する情報	122	17.7%
知識や技術習得に繋がる講座などの情報	258	37.4%
活動の学習機会(研修)	192	27.8%
活動の意見交換会	71	10.3%
登録するつもりがない	277	40.1%
その他() ※8ページ参照	25	3.6%

- Q7: 千葉市ではパラリンピック競技だけでなく、広くパラスポーツ※の普及に力を入れています。パラスポーツに興味・関心はありますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=690]

ある	112	16.2%
どちらかといえばある	251	36.4%
どちらともいえない	166	24.1%
どちらかといえばない	95	13.8%
ない	66	9.6%

Q8: 次のパラスポーツで興味・関心のある競技は何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=690]

ゴールボール	142	20.6%
シッティングバレーボール	124	18.0%
テコンドー	76	11.0%
車いすフェンシング	118	17.1%
車いすバスケットボール	344	49.9%
ウィルチェアーラグビー	153	22.2%
ボッチャ	201	29.1%
興味・関心がない	149	21.6%
その他() ※8ページ参照	17	2.5%

Q9: パラスポーツ大会を会場で観戦したことがありますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=690]

ある →Q11へ	63	9.1%
ない	627	90.9%

Q10: 観戦したことがない理由は何ですか。

(いくつでも) [n=627]

どのような競技があるのか知らない	94	15.0%
競技がどこで行われているか知らない	281	44.8%
会場が遠い、行きづらい	68	10.8%
競技に魅力を感じない	41	6.5%
応援したいチームや選手がいない	95	15.2%
知る機会がない	224	35.7%
興味・関心がない	124	19.8%
予定があわない、都合がつかない、時間がない	153	24.4%
その他() ※9ページ参照	14	2.2%
未回答	15	2.4%

Q11: 「東京2020大会」を身近に感じるために、あなたが個人や家族でできることは何だと思えますか。

[選択肢補足]

※「東京2020大会」で使用するメダルについて、使用済み携帯電話等の小型家電から製作
(いくつでも)(入力必須) [n=690]

SNS(ツイッター、フェイスブック、ラインなど)による情報拡散	161	23.3%
外国語や手話などでの簡単なあいさつ	134	19.4%
地元選手の応援	290	42.0%
有力選手の応援	157	22.8%
パラスポーツの応援や体験会への参加	139	20.1%
大会関連イベントへの参加	185	26.8%
開催競技のルールを理解	163	23.6%
リサイクルメダル※の原材料提供	213	30.9%
会場で競技観戦	217	31.4%
テレビなどで競技観戦	387	56.1%
興味、関心がない	54	7.8%
特になし	32	4.6%
その他() ※9ページ参照	10	1.4%

Q12: 次に、「科学都市ちば」についてお聞きます。

本市では、産業界、大学などの研究機関、市民団体などが連携を深め、人材の輩出や産業・技術の振興などを行い、未来に希望を持てるまちづくりとして「科学都市ちば」を目指していますが、この取組みを知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=690]	
知っていた(内容も知っていた)	117	17.0%
知っていた(内容は知らなかった)	211	30.6%
知らなかった	362	52.5%

Q13: 科学で興味や関心があるものは何ですか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=690]	
物理(物体の運動 など)	175	25.4%
化学(物質の構造や性質 など)	192	27.8%
自然(山、川、海、動物、植物 など)	480	69.6%
生命(生物の進化、遺伝子、バイオテクノロジー など)	319	46.2%
地学(気象、地層、地震、火山活動 など)	299	43.3%
宇宙(天体、ロケット開発 など)	320	46.4%
健康(医療、栄養 など)	385	55.8%
環境(生物多様性、地球温暖化 など)	297	43.0%
生活(衣料、食品、住居 など)	281	40.7%
エネルギー(再生可能エネルギー、原子力発電 など)	274	39.7%
情報通信(通信技術、インターネット、携帯電話 など)	292	42.3%
最先端技術(iPS細胞、二足歩行ロボット、スーパーコンピューター など)	245	35.5%
科学教育(科学技術の歴史や進歩 など)	107	15.5%
特になし	16	2.3%

Q14: 生活の中で科学を身近に感じますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=690]	
非常に感じる	119	17.2%
概ね感じる	275	39.9%
どちらともいえない	178	25.8%
あまり感じない	106	15.4%
全く感じない	12	1.7%

Q15: 千葉市科学館に行ったことがありますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=690]	
ある →Q17へ	463	67.1%
ない	227	32.9%

Q16: その理由は何ですか。

(いくつでも)	[n=227]	
場所が不便	23	10.1%
場所がわからない	41	18.1%
行く時間がない	42	18.5%
きっかけがない	117	51.5%
子どもが幼い	14	6.2%
料金が安い	22	9.7%
駐車場が有料	39	17.2%
展示物に魅力がない	5	2.2%
プラネタリウムの番組に魅力がない	2	0.9%
子ども向けの施設だと思う	42	18.5%
科学に興味がない	6	2.6%
千葉市科学館を知らない	22	9.7%
その他() ※10ページ参照	4	1.8%

- Q17: 本市では、「科学都市ちば」の一環として「科学フェスタ2018※」を開催しましたが、この祭典を知っていましたか。
 ※日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる総合的な科学の祭典。今年度は10月6日(土)～7日(日)にきぼーるでメインイベントを開催し、科学体験ブース、実験・工作教室、講演会、サイエンスカフェなどを実施。

(1つだけ)(入力必須) [n=690]

知っていた(内容も知っていた)	131	19.0%
知っていた(内容は知らなかった) →Q20へ	133	19.3%
知らなかった →Q20へ	426	61.7%

- Q18: 「科学フェスタ2018」のメインイベントに参加しましたか。

(1つだけ) [n=131]

参加した →Q20へ	23	17.6%
参加しなかった	108	82.4%

- Q19: Q18で「参加しなかった」と回答した方にお聞きます。
 参加しなかった理由は何ですか。

(いくつでも) [n=108]

場所が不便	9	8.3%
行く時間がない	29	26.9%
きっかけがない	6	5.6%
子どもが幼い	14	13.0%
科学に興味がない	2	1.9%
開催日時などを知らなかった	5	4.6%
おもしろいイベントがなかった	4	3.7%
子ども向けのイベントだと思う	14	13.0%
都合が合わなかった	59	54.6%
内容が難しそうだった	4	3.7%
混雑していそう、混雑していた	18	16.7%
その他() ※10ページ参照	9	8.3%

- Q20: 年間に科学関連のイベント※(他の自治体や民間でのイベントを含む)に参加する頻度はどの程度ですか。

※本市では10月の「科学フェスタ」メインイベントの他、各種イベントを行っています。夏休み科学工作教室や自然観察会など、詳細は「科学フェスタ」のホームページをご覧ください。

(1つだけ)(入力必須) [n=690]

毎月	7	1.0%
年数回	98	14.2%
年1回	163	23.6%
参加しない	422	61.2%

- Q21: どのような内容の科学関連イベントに参加したいですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=690]

世の中で話題になっているテーマ	248	35.9%
日常生活の中にある科学、技術	306	44.3%
おもしろい科学実験、科学工作	268	38.8%
宇宙に関するもの	240	34.8%
地質や地理に関するもの	128	18.6%
環境やエネルギーに関するもの	201	29.1%
立体映像(3D)など映像技術	133	19.3%
生物や植物に関するもの	167	24.2%
屋外での観察、採集	95	13.8%
子どもと一緒に参加が可能	208	30.1%
大人だけでも楽しめる	185	26.8%
シニア、シルバー世代の参加が可能	137	19.9%
特にない	52	7.5%
その他() ※10ページ参照	14	2.0%
未回答	7	1.0%

Q22: 科学に関することで、本市に期待するものは何ですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=690]

産業振興への支援(先端技術開発 など)	96	13.9%
科学の学習機会充実(市民向けの講座 など)	74	10.7%
子どもの科学への興味を高める	224	32.5%
施設の充実(科学館 など)	78	11.3%
企業、研究機関の取組みの紹介	36	5.2%
学校教育における科学分野の充実	67	9.7%
大学や企業との共同研究	61	8.8%
特にない	48	7.0%
その他() ※11ページ参照	6	0.9%

Q23: 最後に、「生涯現役応援センター」についてお聞きします。

生涯現役応援センターの業務について、知っていることは何ですか。
(いくつでも)(入力必須) [n=690]

就労やボランティア活動など各種相談及び情報提供	148	21.4%
セミナー、講習会などの企画、運営	143	20.7%
民間企業やNPO団体など共同したイベントの企画、運営	62	9.0%
高齢者に適した活動先の開拓	130	18.8%
知らなかったが利用してみたい →Q26へ	226	32.8%
知らなかったし利用するつもりもない →Q27へ	213	30.9%

Q24: 生涯現役応援センターを知ったきっかけは何ですか。

(1つだけ) [n=254]

市政だより	196	77.2%
テレビ・ラジオ	3	1.2%
ホームページ	19	7.5%
チラシ	3	1.2%
ポスター	5	2.0%
口コミ(知り合いから)	10	3.9%
口コミ(家族から)	4	1.6%
その他() ※11ページ参照	6	2.4%
未回答	8	3.1%

Q25: 生涯現役応援センターを利用したことがありますか。

(1つだけ) [n=254]

ある(セミナーだけ参加したことがある)	16	6.3%
ある(複数回利用したことがある)	11	4.3%
ある(1回だけ利用したことがある)	8	3.1%
ない(利用してみたい) →Q26へ	139	54.7%
ない(利用するつもりもない) →Q27へ	74	29.1%
未回答	6	2.4%

Q26: Q23で「知らなかったが利用してみたい」またはQ25で「ない(利用してみたい)」と回答した方にお聞きします。

利用する場合は、どのような相談をしたいですか。
(いくつでも) [n=365]

就労	131	35.9%
ボランティア	141	38.6%
起業	50	13.7%
学び(セミナー、講習会など)	238	65.2%
健康づくり	182	49.9%
千葉市の施策(生きがいづくり、介護予防など)	124	34.0%
その他() ※11ページ参照	5	1.4%
未回答	9	2.5%

- Q27: Q23で「知らなかったし利用するつもりもない」またはQ25で「ない(利用するつもりもない)」と回答した方にお聞きします。
その理由は何ですか。

(いくつでも) [n=287]

仕事をしている	137	47.7%
ボランティア活動をしている	21	7.3%
趣味のサークル、クラブ活動などをしている	31	10.8%
相談しなくても自分で探せる	27	9.4%
アクセスが悪いので相談に行くのが面倒	16	5.6%
特に何もせず自宅でのんびり過ごしたい	37	12.9%
年齢が若いため、まだわからない	125	43.6%
その他() ※11ページ参照	17	5.9%
未回答	8	2.8%

- Q28: 人生100年時代において、生涯現役応援センターのようなシニア向けの総合相談窓口は必要だと思いますか。

(1つだけ)(入力必須) [n=690]

思う	643	93.2%
思わない	47	6.8%

- Q29: 今後、生涯現役応援センターに望むことは何ですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=690]

窓口での丁寧な相談、情報提供	393	57.0%
ホームページや電子メールでの相談、情報提供	339	49.1%
提供する情報の種類、量の充実	375	54.3%
出張相談の実施	112	16.2%
センターの増設	134	19.4%
特になし	67	9.7%
その他() ※12ページ参照	18	2.6%

選択肢:その他()

Q6: 本市では、東京2020大会に向けて、ボランティア活動の盛り上げと、千葉市におけるボランティアの裾野を広げるために、「チーム千葉ボランティアネットワーク」を設立しました。どのようなボランティア情報や機会、活動があると登録したいと思いますか。

・	すでに登録している(他1件)
・	ボランティアに大変興味がありますが、未就学児が2人いるため「活動できるボランティアはない」と言われました。子どもは小さいですが、一生のうちに何度とないオリンピックパラリンピック参画の機会ですので、子どもだけ、親子で参加できるボランティアの機会があれば是非とも参加したいです。
・	天体観望会、ワークショップ、展示会などのイベント情報とボランティアの募集情報(活動の機会の情報提供と募集)。
・	ボランティアには非常に興味があるが、他県への引っ越しを予定しているので活動に参加していいものか気持ちが微妙。
・	朗読ボランティア、対面朗読、録音朗読、オリンピック大会ボランティア、団体が主宰する大会の支援ボランティア。
・	硬いイメージがある。もっと気軽に参加できるような雰囲気作り及び交通費や食費の配布をするべき。
・	オリンピック開催時、自分の予定がわからない。連続の休みがもらえない。
・	ボランティアをしたことがないので、どんなことをするのか分からない。
・	まだ幼い子供がいるので、積極的に参加できないので考えられない。
・	50歳なのでボランティアには適さないと思うので諦めている。
・	子連れで参加でき、時間が短時間であればぜひ何でもやりたい。
・	今は子どもが小さいので、ボランティアは現実的には難しい。
・	活動したいとは思いますが、年齢・体力的に無理である。
・	ウェブ上でできる種類のボランティア活動。
・	身障者でも出来る仕事がありますか？
・	スポーツ関連のボランティア情報。
・	環境整備などもあると思います。
・	子ども食堂について知りたい。
・	予定が合えば登録したい。
・	競技ルールの説明会。
・	正直分からない。
・	わからない。
・	検討要。
・	意見なし。

Q8: 次のパラスポーツで興味・関心のある競技は何ですか。

・	車いすテニス(他2件)
・	パラトライアスロン(他1件)
・	幼稚園児の娘が、イベントで何度となく体験する機会があり、大好きになりました。これからも体験する機会があれば積極的に参加していきたいです。
・	電動車椅子サッカーやアンプティサッカー、ソーシャルフットボールなどの障害者サッカー。
・	夏季競技よりも冬季競技の方に興味があります。(アイスホッケー、アルペンスキー等)。
・	興味はある方であるが、特に個別にとりたてて興味があるという競技はない。
・	パラパワーリフティング、パラバドミントン。

・ ブラインドサッカー。
・ バスケットボール。
・ 障害者テニス。
・ セーリング。
・ テニス。
・ 柔道。
・ 陸上。

Q10: 観戦したことがない理由は何ですか。

・ パラスポーツが本当に障害者の為のスポーツであればいいのだが、利用している或いはされているような感じがしてならない。スポーツでなければならないのにメダルを取ること、強い人だけが表に出て又もてはやしているような気がしてならない。
・ パラスポーツだからということではなく、もともと知っている人が出場していないかぎり、スポーツは見に行かない。パラスポーツをやっている知り合いがいないので見に行かない。
・ 1度観戦に行ってみたいという気持ちは個人的には持っているものの、小学生の子どもを誘っても関心がないようで、結局実現せぬままになっているため。
・ 観戦しに行っても何をどのように過ごせばいいかわからない。ならば、行く事自体がもったいない。
・ 差別と言われるかもしれないが、「可哀相」という目で見てしまい、直視できないから。
・ 夏季競技よりも冬季競技に興味がありますが、近場で観戦の機会がありません。
・ なんか、気の毒に感じる。身体の都合が悪いのに、頑張るな~と思う。
・ 老齢のために、連れて行ってくれる息子の仕事の都合上無理があった。
・ パラスポーツに限らず、もともとスポーツ観戦全体に興味が無い。
・ そもそも、競技の観戦自体に興味がない。野球観戦くらいかな。
・ 大勢の人が集まる場所、特に室内が苦手(体調の問題)。
・ TVやSNSなどで観戦することができる。
・ 介護しているので、時間がない。
・ 会場が禁煙でない。

「東京2020大会」を身近に感じるために、あなたが個人や家族でできることは何だと思えますか。

Q11:

[選択肢補足]

※「東京2020大会」で使用するメダルについて、使用済み携帯電話等の小型家電から製作

この大会のため、たいした議論や検証もないまま、スポーツ大会としては常軌を逸した莫大な公費が投入される。よく経済効果と言われるが、額に汗したり胃が潰れるような思いをしながらコツコツ働いている一般のサラリーマンや中小企業者、生活困窮者や大規模災害の被災者に、どのように波及・還流されるのか具体的な説明を聞いたことがない。
・ また、土木・建築などの資源が首都圏に多く取られることにより、地方の大規模災害被災地の迅速な復興を阻害していると言う声も聞こえる。そのような状況で、「身近に感じろ」と言われても、疑問を呈さざるを得ない。 千葉県としても、公費や職員の労働力を投入し、かつ、交通混雑や防犯のなど課題言われている以上、きちんと説明する責任があるのではないか。
ボランティアに興味があるのは、外国人とコミュニケーションすることで自分の知識が向上するかなと思うことからです。その他のオリンピック全般には興味がないです。
・ オリンピックが行われることで海浜幕張駅が拡張するとか、我々の生活向上につながることであれば興味はありますが。 あと、子どもがインターの幼稚園に行ってみて、何かしら地域の幼稚園児をからめたオリンピックの行事とかあれば興味湧きます。

<p>東京オリンピックが外国からボイコットされるのではないかと思う。命を掛けて競技に参加したり観戦したりする価値があるのだろうかと思う。地震始め災害大国であり放射能汚染大国でありその危険性をはらんだ国であれば、もう少し開催そのものを自重しても良いだろう。国の「安全性」についての対策や防災や避難にたいする対応が万全であることを公開しなければならないのに浮かれすぎていないだろうか。</p>
<p>パラはともかく莫大な経費をかけて、ましてや猛暑の夏に行うのは施政者のやることではありません、国としてはもっと他にやってほしいことがいっぱいあると思います。しかし今更負け犬の遠</p>
<p>オリンピックでの収益や活性化が、果たして一般庶民まで影響があるのか。また、この災害日本には他にすることがあるのでは。</p>
<p>体験に参加すると、楽しかったものは自然に人に話したくなります。SNSでなくとも口コミはやはり影響力があると思います。</p>
<p>オリンピックを身近に感じなくてはいけないのですか。</p>
<p>子供たちにボランティアをするように勧めること。</p>
<p>都市ボランティアへの参加。</p>
<p>大会ボランティアの参加。</p>

Q16: 科学館に行ったことがない理由は何ですか。

<p>プラネタリウムのみ値段が高い。まず、千葉市中心部で星は殆ど見えないので、古くても良かったし、料金が非常に安かったので毎月行けることが出来た。千葉城の建物の保存が大切だと思いますが、千葉城の時の方が良かったかもしれません。</p>
<p>千葉市に引っ越してきて間もないため。</p>
<p>たまたま行く機会がなかっただけ。</p>
<p>近々行く予定。</p>

Q19: Q18で「参加しなかった」と回答した方にお聞きます。参加しなかった理由は何ですか。

<p>子どもが高校生時代、科学フェスタのお手伝いみたいなことをしていて、知っていたのですが、子どもが成人し、よその地域に引っ越してしまった(やはり科学関係の仕事をしています)。</p>
<p>甥姪をつれて行きたかったが、都合が合わなかった。なお、きぼーるはよく利用しています。街中でも安心して遊んだり、学びの機会が得られるので助かっています。</p>
<p>普段、背の高い福祉車両(2.25m)を運転しています。きぼーるの駐車場に高さ制限で駐車できないため。裁判所の駐車場の開放などを期待したい。</p>
<p>小学生向けの体験は多くありましたが、幼児向けは少なかったです。幼児でも参加できる機会を多く与えていただきたいです。</p>
<p>子どもは参加しました。自分は仕事の都合で参加できませんでした。</p>
<p>どうしても子どもと参加したかったが日程が合わず断念しました。</p>
<p>子どもが興味がないと言っているのです。</p>
<p>一人では行きたくない。</p>
<p>体調が悪かった。</p>

Q21: どのような内容の科学関連イベントに参加したいですか。

<p>科学については最先端だけでなく、それまでの歴史や過程についても興味を持ってもらうのはどうか。技術の移り変わりをたどり、生活や考え方にどのような影響を及ぼしていったのかを考えてもらうことも科学に触れ合える良い機会かと思う。例としては、通信環境の変化は生活をどのように変え、新しい素材によってどのようなことができるようになったかなど。</p>
<p>大人の人対象の、科学クラブ的なものがあると嬉しいです。特に星空観測会とかいいですね、「空ガール」が流行っていたので憧れてました。でも、子ども対象のものばかりだったので大人も楽しめれば「宇宙が好きな人」との新しい交流ができて嬉しいです。</p>
<p>科学イベントというと子ども向けが多く、私は技術系、芸術系学会のイベントに参加します。すごく専門的なイベントに、知らない人が行くとその世界の広さに驚くと思います。そういう啓蒙があったらよいと思う。</p>

<ul style="list-style-type: none"> 少数制のイベントであれば、参加できるチャンスは減るだろうし、不特定多数が参加できるものであると、面白さや参加している感が薄まってしまおうとも思われ…むずかしいが、沢山の人が参加できるモノがいい。
<ul style="list-style-type: none"> 幼児でも、実際に体験すると難しい事でも興味を持つ入り口になります。5歳の子どもはDNA 抽出実験に参加した事がありますが、そこで体験したピペット作業が好きになりました。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが学童時には行っていたが大きくなってからは行っていないから。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもも楽しめるような電子工作に関連するもの。
<ul style="list-style-type: none"> ちばシティポイントを付与してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 人混みにはあまり行きたくない。
<ul style="list-style-type: none"> 自動車と科学、鉄道車両と科学。
<ul style="list-style-type: none"> 障害者も参加可能なこと。
<ul style="list-style-type: none"> 医療に関するもの。
<ul style="list-style-type: none"> 法医研の解放日。
<ul style="list-style-type: none"> 意見なし

Q22: 科学に関することで、本市に期待するものは何ですか。

<ul style="list-style-type: none"> 科学館には実験設備があるので、そこを利用しつつ、自由研究を指導していただけるシステム。年間契約(有料)で、大人が利用できる。身近なテーマで研究し、学会発表や論文発表をできるようにになれば、社会の為になるとともに、生きがいにもなる。
<ul style="list-style-type: none"> 夏休み自由研究の理科展、ひどいものはホームページを丸写しだったり兄弟同じものを出していたり、[完全なるパクリ]というものを排除していただきたいです。真面目にやる意味がなくなり、興味が薄れてしまいます。
<ul style="list-style-type: none"> 小学校にそのフェスタ期間に校外学習として見学をお願いすることもあって良いと思います。個人で行くと単なる親たちの時間つぶしにしかならないと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 地元の企業が行なっている最新技術や科学技術の紹介。
<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や生き物を守る心を育てる企画。
<ul style="list-style-type: none"> 廃プラに対する取組み、ゴミの分別など。

Q24: 生涯現役応援センターを知ったきっかけは何ですか。

<ul style="list-style-type: none"> 地域のクラブなどでパンフレットなどを見かけたときなど、しかし体がもう思うように行かないので参加する意欲が残念ながら衰えてきました。
<ul style="list-style-type: none"> 当センターでの事業に参加したこと。
<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館を利用している為。
<ul style="list-style-type: none"> 当センター職員から。
<ul style="list-style-type: none"> 近所にあるから。
<ul style="list-style-type: none"> 新聞。

Q23で「知らなかったが利用してみたい」またはQ25で「ない(利用してみたい)」と回答した方にお聞きします。
 利用する場合は、どのような相談をしたいですか。

<ul style="list-style-type: none"> サラリーマンですが、退職後の年金が期待できないので、自分で稼ぐ必要があります(ボランティアでない)。それは、市にとっても税収につながり、個人の生活、生きがい、健康にもつながると思います。是非とも、充実した施策をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> 現役ではいたいが、働かなければ食べていけない社会では困る。
<ul style="list-style-type: none"> 上記に関連して、同じ興味を持つ友人作り。
<ul style="list-style-type: none"> 現在生涯学習で勉学中(英語)。
<ul style="list-style-type: none"> 特にない。

Q23で「知らなかったし利用するつもりもない」またはQ25で「ない(利用するつもりもない)」と回答した方にお聞きします。
その理由は何ですか。

<ul style="list-style-type: none"> 生涯現役と体のいい表現ですが結局、タダ働き、介護になるでしょう。要望が多いから仕方ないけど、自分自身の介護は誰もしてくれない社会構造にしまったくせに、家族以外に介護ボランティアさせられるのは、かないません
<ul style="list-style-type: none"> 幼い子供が3人もいるので、そのような場に子供を連れて行ったら迷惑になると思う。だから、今は利用しない。
<ul style="list-style-type: none"> 連れが名目介護1相当でもあり移動参加はマイカー利用となる。一人での活動は制約があるかと思っている。
<ul style="list-style-type: none"> 私自身は利用対象年齢ではありません。ただ、親に勧めることはできると思います。
<ul style="list-style-type: none"> 生涯現役応援センターがどのようなことをしているのかわからないから。
<ul style="list-style-type: none"> 施設前に喫煙所があり、受動喫煙防止対策がなされていないため。
<ul style="list-style-type: none"> 自分の親(70代・隣接市在住)に紹介しようと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 年齢がもう少し上になったら考えてもいいかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 中央区にも開設されたら利用したいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 用意されたプログラムに内容に興味を沸かさない。
<ul style="list-style-type: none"> 自分に関わりがなさそうな施設なので。
<ul style="list-style-type: none"> 89歳の老齢のため歩行困難です。
<ul style="list-style-type: none"> 何をしているかよくわからない。
<ul style="list-style-type: none"> そもそも何なのか知らない。
<ul style="list-style-type: none"> 体調が芳しくない為。
<ul style="list-style-type: none"> 身体的理由。
<ul style="list-style-type: none"> 体調の問題

Q29: 今後、生涯現役応援センターに望むことは何ですか。

<ul style="list-style-type: none"> 現役でまだ退職後を考えるには年齢が若すぎると思っているので何とも言いえないが、退職後のセカンドキャリアについては退職が目前になってから考えても何もできないことが多いのではないかと思う。40代、50代の対象者向けに啓発セミナーをしたり、セカンドキャリアの実践をしている人にメンターとして講義やサポートしてもらったり、分野ごとのメンターからの指導や分科会などがあつたほうが効果的なのではないかと思う。『シニア』の枠で切り離したり、『生涯現役』などといった年配臭い特別感を出さずに普通の職業紹介のサポートの中の選択肢の一つとして周知定着していかせるイメージのほうが関わりやすいと思います。また、対象者を一部に限らず、退職というイベントがある人でセカンドキャリアのイメージのない人はすべて普通に対象になりうるようなイメージの位置づけのほうが参加しやすいかもしれません。
<ul style="list-style-type: none"> 高年齢になるほど個人差が拡大するものの、健康寿命が伸び、体力年齢が若返っていることもあり、労働力不足の折、多様な経験スキルおよび学習スキルを持っていて、かつ若い人とも上手く協働できる中高年であれば、日本社会は積極的に活用していくべきだと思いますけど、いかがですか。需要と供給、そのマッチングができるデータベース機能を期待します。 ※本件とは関係ありませんが、2018年も妄言多謝、失礼をお許しください。市民の声をこうして吸い上げていただける千葉市と、御担当の皆様には本当に感謝しております。住んで良かった。良いお年を！
<ul style="list-style-type: none"> シニア、子育て世代においては、そこにしか窓口がないと、移動手段など億劫に感じることもある。なので、出張所とかあるといいのでは。あと、詳細はよくわかっていなかったのでもう少し身近に感じられるよう、市政だよりとか、簡単に情報を得られるといい。
<ul style="list-style-type: none"> 公が行う就業のための情報提供や職業紹介は、元来国の事務ではないのでしょうか。この業務を市が行う必要性について、きちんと検証し説明していただきたい。それでなくても、国と地方の財源配分が偏っているのですから。
<ul style="list-style-type: none"> 人生100年時代だと思えば、年金支給年齢の引き上げに連動した定年制の改定や社会のシステムを見直す動きをしてくれませんか？若い世代は夢や希望も見いだせないのではないのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> 近くのコンビニなどに千葉市関係のリーフレットを置くコーナーを作ってもらい、その世代にあつたパンフレットを少なくとももらってもらおうようにしてもらおう。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 本当にその人の生き方の為になることを相談できる場所ですか?私には、安く使う人材バンクになる気がします。そうでないということを宣伝してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ利用した事がないのでわかりませんが、お祭りやイベントなどの出店ブースで知ったり体験できたら身近に感じると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 70代の母もライン等のSNSを利用しているので、高齢者向けにもSNSを活用すると良いのではないかと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ その場にいけない人のためにわかりやすく、やりやすい方法で情報提供や公開してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ことぶき大学が今年の募集で終わると聞きましたがボランティアの育成には必要と思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域とのつながりが薄いミドル世代の単身者の地域社会・活動との接点の提供、充実。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援＝PTA活動や登下校時の旗振などへの協力。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 80歳過ぎても働ける機会をつくってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の行き場所としてのセンター。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に限定しないサービス。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者への対応。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容。